

(別添)

平成22年度循環型社会形成推進研究発表会プログラム(予定)

※講演者・発表者・演題・時間等は変更になることがあります。

【東京会場】テーマ：有害物質対策—PCB、アスベスト、医療廃棄物ほか

時間	内容
10:00	受付開始
10:30~10:45	環境省事業説明
10:45~11:45	特別講演 「環境リスクの管理とコミュニケーションの役割」 村山 武彦 (早稲田大学理工学術院創造理工学部教授)
11:45~12:45	休憩(60分)
12:45~13:15	「低濃度 PCB 汚染物の焼却処理に関する研究」 泉澤 秀一 (財団法人産業廃棄物処理事業振興財団) 発表者：長田 容 (財団法人産業廃棄物処理事業振興財団)
13:15~13:45	「不完全な半透膜としての挙動を考慮した最終処分場粘土遮水層における有害化学物質移行挙動の定量化」 徳永 朋祥 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
13:45~14:15	「水熱電解法を用いた難分解性有機廃液の高効率無害化技術の開発」 後藤 元信 (熊本大学バイオエレクトロニクス研究センター)
14:15~14:30	休憩(15分)
14:30~15:00	「アスベスト廃棄物の無害化処理品の生体影響評価に関する研究」 神山 宣彦 (東洋大学経済学部)
15:00~15:30	「プラスチック類の破碎・圧縮工程(メカノケミカル反応)に伴う有害化学物質の挙動に関する研究」 細見 正明 (東京農工大学大学院共生科学技術研究院)
15:30~16:00	「有機臭素系難燃剤を含有した低級廃プラスチックの熱分解を利用した重金属含有汚泥の資源化プロセスに関する研究」 中村 崇 (東北大学多元物質科学研究所)
16:00~16:30	「画像処理に基づいたアスベスト定性分析支援手法およびシステムに関する研究」 川端 邦明 (独立行政法人理化学研究所)
16:30~17:00	「動物由来医療廃棄物のリスクとマネジメントに関する研究」 加藤 雅彦 (九州保健福祉大学)
17:00	閉会

【福岡会場】テーマ： リサイクル技術—レアメタル回収、製紙スラッジ、バイオマスほか

時間	内容
10:00	受付開始
10:30~10:45	環境省事業説明
10:45~11:45	特別講演 「循環型・低炭素社会構築のための環境研究・技術開発の動向」 藤田 正憲（大阪大学 名誉教授）
11:45~12:45	休憩（60分）
12:45~13:15	「イオン液体を用いた製紙スラッジに含まれるパルプ成分と無機成分の分離—低環境負荷を特徴とするリサイクル技術の開発—」 市浦 英明（高知大学教育研究部自然科学系）
13:15~13:45	「環境調和型溶媒イオン液体を用いた廃家電品からのレアメタル再資源化技術の開発」 後藤 雅宏（九州大学大学院工学研究院応用化学部門）
13:45~14:15	「焼却灰及びばいじんにおけるレアメタルの賦存量とその回収に関する研究」 武田 信生（立命館大学総合理工学研究機構）
14:15~14:30	休憩（15分）
14:30~15:00	「廃棄物系バイオマスと熱硬化性樹脂の共処理による有用資源の回収と燃料の製造」 加茂 徹（独立行政法人産業技術総合研究所）
15:00~15:30	「コンクリート内パルスパワー放電による骨材再生」 浪平 隆男（熊本大学バイオエレクトリクス研究センター）
15:30~16:00	「水熱反応による有機性循環資源の高品位液状飼料化」 大門 裕之（豊橋技術科学大学工学教育国際協力研究センター）
16:00~16:30	「他産業も含めたマテリアルフローを考慮した建設系廃棄物の再資源化評価システムの構築に関する研究」 清家 剛（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
16:30	閉会

【大阪会場】テーマ：リサイクル技術—可燃ごみ、廃食油、廃マグネシウムほか

時 間	内 容
10:00	受付開始
10:30~10:45	環境省事業説明
10:45~11:45	特別講演 「NPO 法人広島循環型社会推進機構における産官学連携によるリサイクル技術の開発」 岡田 光正（広島大学大学院工学研究院 教授）
11:45~12:45	休憩（60分）
12:45~13:15	「可燃ごみのバイオガス化装置における効率的異物除去機構の開発」 多田羅 昌浩（鹿島建設株式会社）
13:15~13:45	「接触分解法を用いた廃食油からの軽油製造技術の開発」 土肥 弘敬（株式会社タクマ）
13:45~14:15	「マグネシウムスクラップからのアップグレード型素形材の直接再生技術の実用化開発」 金子 貫太郎（株式会社栗本鐵工所） ※発表者：閻師 昭彦（株式会社栗本鐵工所）
14:15~14:45	「木質ボード廃材及び容器リサイクル樹脂を用いた機能化コンパウンドの開発」 伊藤 弘和（ヤマハリビングテック株式会社）
14:45~15:00	休憩（15分）
15:00~15:30	「梅干調味廃液の酵母発酵によるアミノ酸液肥の開発とその肥効の実証」 大門 弘幸（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）
15:30~16:00	「難処理複合廃材のワンポットプロセスによる循環再生利用に関するモデル的研究」 内藤 牧男（大阪大学接合科学研究所）
16:00~16:30	「安全・安価なハイブリッド式バイオマス利活用技術による農作物非食部のエネルギー・再資源化と産地での完全消費・循環システムの基盤構築に関する研究」 近藤 勝義（大阪大学接合科学研究所）
16:30	閉会

【仙台会場】 テーマ：循環システム—建設系廃棄物、海岸流木ほか

時間	内容
10:00	受付開始
10:30~10:45	環境省事業説明
10:45~11:45	特別講演 「建設系廃棄物不適正処理 —防止策と支障の除去—」 原 雄 (DOWA エコシステム千葉株式会社 顧問)
11:45~12:45	休憩 (60分)
12:45~13:15	「日本の3R制度・技術・経験の変遷に関する研究」 八木 美雄 (財団法人廃棄物研究財団)
13:15~13:45	「人口減少を踏まえた生活排水処理施設整備手法の評価システムの構築」 細井 由彦 (鳥取大学大学院工学研究科)
13:45~14:15	「破碎選別による建設系廃棄物の地域循環システムの設計に関する研究」 山田 正人 (独立行政法人国立環境研究所) 発表者：遠藤 和人 (独立行政法人国立環境研究所)
14:15~14:30	休憩 (15分)
14:30~15:00	「海岸流木のリサイクルに向けたシステム提案 (漂着ごみ問題解決に関する研究)」 斎藤 直人 (北海道立総合研究機構 林産試験場)
15:00~15:30	「不適正な最終処分システムの環境再生のための社会・技術システムの開発」 古市 徹 (北海道大学) 発表者：石井 一英 (北海道大学大学院工学研究院)
15:30	閉会